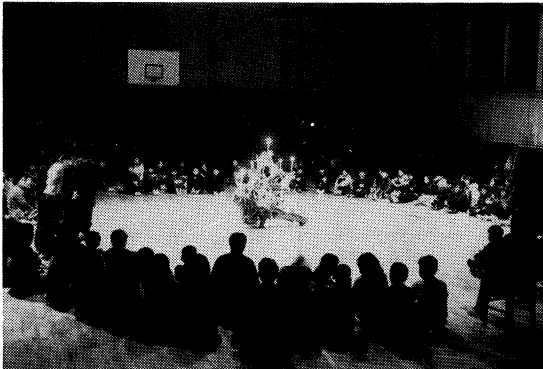


事業名	親子レクリエーションのつどい
目的	親子での共同宿泊生活を通じ野外レクなどを楽しみひとときをおくって望ましい親子関係を深める。
期日	10月18日(土)～19日(日) (1泊2日)
対象	親子単位で参加
内容	1. 室内ゲーム大会 2. フィールドワーク 3. オリエンテーリング 4. 交歓会
講師助言者	地方講師，県教育庁職員（教育事務所職員），所員
備考	参加者 120名，原則として小学生以上

(3) 秋の主催事業

事業名	親子キャンプ・登山のつどい
目的	キャンプおよび登山を通じ大自然に親しみながら相互の親睦，健康の増進をはかる。
期日	8月1日(金)～3日(日) (2泊3日)
対象	親子又は地域のグループ（原則として子ども5人に成人1人の6人で1グループ）単位で参加
内容	1. 野営訓練 2. 炊飯コンクール 3. キャンプファイヤー 4. ハイキング 5. レクリエーション交歓会
講師助言者	地方講師，県教育庁職員（教育事務所職員），所員
備考	参加者 120名，原則として小学生以上

(2) 夏の主催事業



事業名	親と子の雪のつどい
目的	共同宿泊生活を通じて親と子の理解を深めるとともに，冬の遊びをくふうする能力を高める。
期日	51年2月14日(土)～15日(日) (1泊2日)
対象	親子，兄弟（姉妹），地域の小グループ
内容	雪遊び，ゲーム大会，工作遊び
講師助言者	地方講師，県教育庁職員（教育事務所職員），所員
備考	参加者 120名，原則として小学生以上

(4) 冬の主催事業

事業名	少年自然の家利用連絡協議会
目的	昭和51年度に利用を予定する学校の指導担当者で教育課程編成上の手続き，利用申し込み手続き等について確認し合い，効果的な利用について研究協議する。
期日	1月16日(金)～17日(土) (1泊2日)
対象	昭和51年度に利用を予定している小・中学校の引率者代表
内容	1. 少年自然の家の実地見学 2. 施設利用の体験発表 3. 効果的な利用法の協議 4. 情報交換
講師助言者	地方講師，県教育庁職員（教育事務所職員），所員
備考	参加者 166名

次年度利用予定の各小・中学校の日程調整と計画案作成のための主催事業も開かれる。

八、青少年の集団宿泊研修

——文部省委嘱研究「在学青少年に対する集団宿泊指導の拡充方策研究」報告書より——

本県では、昭和四十七年八月福島県少年自然の家を郡山市に建設し、少年に対する社会教育のあり方について研究を進めていたが、昭和四十八年度ならびに昭和四十九年度の二か年において、文部省より「在学青少年に対する集団宿泊指導の拡充方策」の研究委嘱を受け、特に、少年に対する集団宿泊指導について、研究を続けてきた。このほど、この研究についての報告書がまとまり、青少年に対する社会教育の拡充のための資料として、関係者に活用されているが、以下一部分を紹介し、青少年の集団宿泊研修の効果を高めることに役立てたい。

